表示器“GOT1000”とエンジニアリング環境“GT Designer2”

宇佐美哲之*

“GOT1000” Series and Engineering Environment “GT Designer 2”

Tetsuyuki Usami

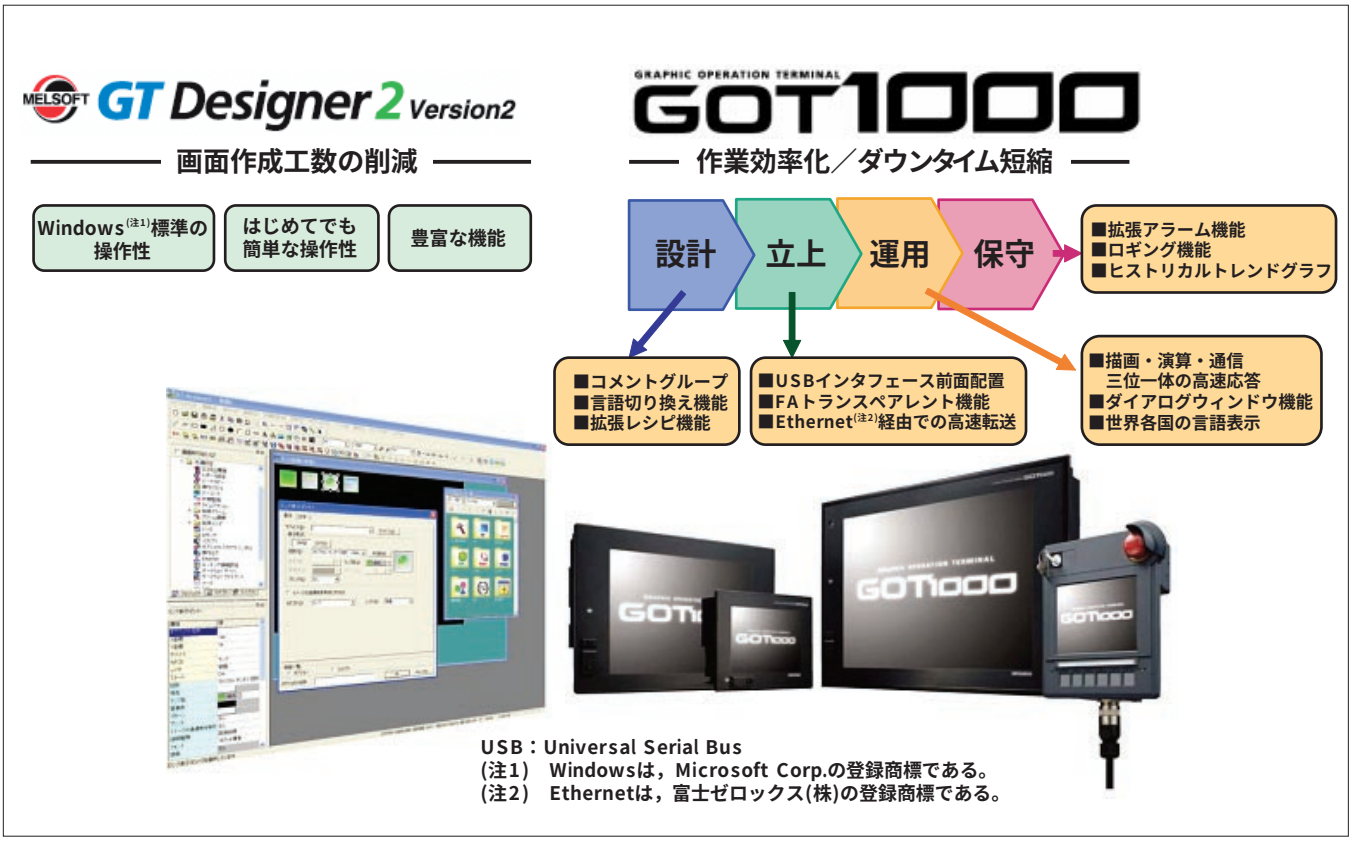
要　旨

近年，生産現場のグローバル化や変化スピードの加速などユーザーを取り巻く環境が大きく変化し，それとともに表示器が果たすべき役割もいっそう重要なものになってきている。そのような中，作業効率化・生産性向上や装置の差別化・付加価値創出に貢献できる，真に“役に立つ”表示器を目指して，三菱電機では“GOT1000シリーズ”を2004年７月に発売した。また，GOT1000シリーズ発売と同時にエンジニアリング環境である“GT Designer2”をGOT1000に対応させた。

2004年７月の発売開始後も，作業効率化・ダウンタイム短縮をねらいとして機種・機能拡充を実施し，2007年には“iQ Platform”(高速シーケンサ／高速モーションコントローラ，エンジニアリング環境)対応機能，機種拡充(5.7型VGA(Video Graphics Array)機種等)，バックアップ／リストア等の機能拡充を実施した。

今回，iQ Platformに対応するため，高速シーケンサ／高速モーションコントローラとの接続機能，作画ソフトウェアGT Designer2のラベル参照機能等を開発・付加した。機種拡充では，業界初となる5.7型VGA機種，5.7型QVGA(Quarter VGA)バス接続専用機等をラインアップに追加した。また，機能拡充では，複数シーケンサのプログラム・パラメータをバックアップ／リストアする機能などユーザーのトラブルシュートや運用・保守に貢献する機能を追加している。

本稿ではこれら2007年に追加された新機種・新機能，及び適用技術について述べる。



GOT1000シリーズとGT Designer2

作業効率化・生産性向上や装置の差別化・付加価値創出に貢献できる，真に“役に立つ”表示器を目指して製品化されたGOT1000シリーズと，画面作成時間の短縮を図るエンジニアリング環境GT Designer2。発売以来，機種・機能を拡張しながら進化を続けている。

*名古屋製作所